

設計図書内「独自代価」における諸雑費の端数処理方法について

上越市ガス水道局において設定している「独自代価」の工種について、
「諸雑費」の端数処理方法については以下のとおり。

①代価表(歩掛表に率でない諸雑費があるもの)

単位数量当りの代価表の合計金額が、有効4桁となるように端数を計上する。

②代価表(歩掛表に諸雑费率があるもの)

単位数量当りの代価表の合計金額が、有効4桁となるように原則として所定の
諸雑费率以内で端数を計上する。一部、歩掛表の途中で計上するものもある。

以下の「諸雑費コード表」のとおり計上している。

諸雑費コード表

工種コード	名 称	諸 雑 費 率 表 記	諸雑費コード	端数処理
SX0501	鋼管切断工(エンジンカッター)	労務費×5%以内	Z1000Z2	有効4桁
SX0612	穿孔取出(铸铁管)	労務費×5%以内	Z1000Z2	有効4桁
SX0613	穿孔取出(鋼管・PE管)	労務費×5%以内	Z1000Z2	有効4桁
SY0301	X線検査工(ガス)	(機械+消耗費+労務費)×10%	Z1000Z3	有効4桁
SX0604	漏洩・漏水防止金具打工	労務費×1%以内	Z1000Z5	有効4桁
SX0303	保護管設置工	労務費×1%以内	Z1000Z5	有効4桁
SX0905	ガスパーシブ費(低圧)	労務費×20%	Z4002Z0	有効4桁
SX0905	ガスパーシブ費(中圧)	労務費×20%	Z4002Z0	有効4桁
SX0302	塗覆装工(熱収縮チューブ)	φ 50-100:5%, φ 150-500:6%, φ 600以上:8%	Z4002Z2	有効4桁
SX0625	電気溶接工	労務費×2%	Z4002Z6	有効4桁
SX0614	ターミナル取付工	労務費×2%	Z4002Z6	有効4桁
SX0903	デテクター検査費	労務費×20%	Z4002Z7	有効4桁
SX0902	管内清掃工(ビグ清掃)	材料費×0.1%	Z4002Z8	切捨円止
SX2000	遮断バイパス工事(PE管)	材料費×0.1%	Z4002Z8	切捨円止
SX2005	遮断バイパス工事(鋼管低圧用)	材料費×0.1%	Z4002Z8	切捨円止
SX2005	遮断バイパス工事(鋼管中圧用)	材料費×0.1%	Z4002Z8	切捨円止
SX2010	遮断バイパス工事(铸铁管)	材料費×0.1%	Z4002Z8	切捨円止
SX4000	遮断工事(PE管)	材料費×0.1%	Z4002Z8	切捨円止
SX4005	遮断工事(鋼管)	材料費×0.1%	Z4002Z8	切捨円止
SX4010	遮断工事(铸铁管)	材料費×0.1%	Z4002Z8	切捨円止
SX0904	耐圧気密検査費	(材料費+資材運搬+労務費)×20%	Z4002Z9	有効4桁
SX0904	気密検査費(低圧)	(材料費+資材運搬+労務費)×20%	Z4002Z9	有効4桁

(260000-0)

本 工 事 費 総 括 表

工種：開削工事及び小口径推進工事等

費 目	工 種	種 別	細 別 / 規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
直接工事費				式	1			
共通仮設費								
	共通仮設費率計算額			式	1			
純工事費								
	現場管理費			式	1			
		現場管理費率計算額		式	1			
工事原価								
	一般管理費等			式	1			
		一般管理費率計算額		式	1			
		契約保証費		式	1			
工事価格								
	消費税相当額			式	1			

(260000-0)

本 工 事 費 総 括 表

工種：開削工事及び小口径推進工事等

費 目	工 種	種 別	細 別 / 規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
本工事費								

「週休2日取得モデル工事」における補正係数を用いた諸経費率の算出方法について

令和6年4月以降

間接工事費

共通仮設費率の端数処理について

共通仮設費率(補正前)

算定式 $Kr = A \cdot P^b$

ただし、Kr: 共通仮設費率(%) ※小数第3位四捨五入2位止め

P: 対象額(円)

A・b: 変数値(工種区分により決まる係数)

共通仮設費率(週休2日補正後) = (共通仮設費率(補正前) × 施工地域補正係数) × 週休2日補正係数

※共通仮設費率の補正にあたっては、補正前の共通仮設費率(Kr)に施工地域補正係数をかけて小数第3位四捨五入2位止めを行い、さらに週休2日補正係数をかけ小数第3位四捨五入2位止めを行います。

現場管理費率の端数処理について

現場管理費率(補正前)

算定式 $Jo = A \cdot Np^b$

ただし、Jo: 現場管理費率(%) ※小数第3位四捨五入2位止め

P: 対象純工事費(円)

A・b: 変数値(工種区分により決まる係数)

現場管理費率(週休2日補正後) = (現場管理費率(補正前) × 施工地域補正係数) × 週休2日補正係数

※現場管理費率の補正にあたっては、補正前の現場管理費率(Jo)に施工地域補正係数をかけて小数第3位四捨五入2位止めを行い、さらに週休2日補正係数をかけ小数第3位四捨五入2位止めを行います。

◎留意事項

設計額算出時の週休2日に係る補正対象は、労務費・機械経費(賃料)・市場単価・標準単価・間接工事費率とする。

なお、労務費の補正対象は、公共事業労務費調査対象の51 職種及び電気通信技術者、電気通信技術員、機械設備据付工、技術者(下水道)とすることから、見積と記載のある労務単価(ステンレス溶接工等)及びガスX線検査工の一部単価(X線検査 技術員・補助)並びに水道X線検査工の一部労務費(技師A及び技師B)は補正対象外となる。

また、予定価格算出にあたっては、上越市ガス水道局「週休2日取得モデル工事(現場閉所型)」(令和6年4月試行)実施要領【土木工事】を確認し算出すること。

間 接 工 事 明 細 書 (当初)

令和6年度(春) 基準適用
週休2日補正有 R 6 年度[春] 単価適用
週休2日(4週8休) 適用地区： 上越⑥

計 算 根 拠 式

費 目	計 算 根 拠 式													
共通仮設費 (率計算額)	率計算額	=対象額×（標準率×地域補正）×係数 = ×（ %× ）×	週休2日補正係数 ○ 地域補正係数											
	対象額	=直接工事費－（管材費／2）＋支給品費－（管材費（支給品費）／2） ＋無償貸付機械等評価額＋事業損失防止施設費＋処分費（準備費）－処分費控除額 ＋加算額－減算額 = -（ /2）＋ -（ /2） ＋ ＋ ＋ - ＋ - 処分費控除額＝ 処分費等（直工＋準備）÷対象額＝構成比＜＞3% ÷ = %＜＞3%	<table><tr><th>施工地域・工事場所区分</th><th>補 正 係 数</th></tr><tr><td>一般交通影響あり①</td><td></td></tr><tr><td>一般交通影響あり②</td><td>○</td></tr><tr><td>市街地</td><td></td></tr><tr><td>山間僻地及び離島</td><td></td></tr></table>	施工地域・工事場所区分	補 正 係 数	一般交通影響あり①		一般交通影響あり②	○	市街地		山間僻地及び離島		
	施工地域・工事場所区分	補 正 係 数												
	一般交通影響あり①													
一般交通影響あり②	○													
市街地														
山間僻地及び離島														
現場環境改善費 (率計算額)	率計算額	=対象額×（標準率＋補正率）×係数 = ×（ %＋ %）×	現場環境改善費補正率 %											
	対象額	=直接工事費－（管材費／2）－処分費等（直工）＋支給品費 －（管材費（支給品費）／2）＋無償貸付機械等評価＋加算額－減算額 = -（ /2）－ ＋ －（ /2）＋ ＋ -												
現場管理費 (率計算額)	率計算額	=対象純工事費×（標準率×地域補正＋冬期補正率）×係数 = ×（ %× ＋ %）×	週休2日補正係数 ○ 地域補正係数											
	対象純工事費	=純工事費－（管材費／2）＋支給品費－（管材費（支給品費）／2） ＋無償貸付機械等評価額－処分費控除額＋加算額－減算額 = -（ /2）＋ -（ /2） ＋ - ＋ -	<table><tr><th>施工地域・工事箇所区分</th><th>補 正 係 数</th></tr><tr><td>一般交通影響あり①</td><td></td></tr><tr><td>一般交通影響あり②</td><td>○</td></tr><tr><td>市街地</td><td></td></tr><tr><td>山間僻地及び離島</td><td></td></tr></table>	施工地域・工事箇所区分	補 正 係 数	一般交通影響あり①		一般交通影響あり②	○	市街地		山間僻地及び離島		
	施工地域・工事箇所区分	補 正 係 数												
	一般交通影響あり①													
一般交通影響あり②	○													
市街地														
山間僻地及び離島														
		冬期補正率 %												
一般管理費 (率計算額) 契約保証費	率計算額	=対象工事原価×（標準率×前払補正率）×係数－端数調整額 = ×（ %× ）× -	前払補正率											
	契約保証費	=対象工事原価×契約保証補正 = × %	<table><tr><th>前払金支出割合区分</th><th>0%から5%以下</th><th>5%超15%以下</th><th>15%超25%以下</th><th>25%超35%以下</th></tr><tr><th>補正係数</th><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table> ※35%超40%以下（補正なし）の場合 ○	前払金支出割合区分	0%から5%以下	5%超15%以下	15%超25%以下	25%超35%以下	補正係数					
	前払金支出割合区分	0%から5%以下	5%超15%以下	15%超25%以下	25%超35%以下									
	補正係数													
対象工事原価	=工事原価－処分費控除額＋加算額－減算額 = - ＋ -	契約保証補正率 %	<table><tr><th>保証の方法</th><th>補正值(%)</th></tr><tr><td>金銭的保証</td><td>○</td></tr><tr><td>役務的保証</td><td></td></tr></table>	保証の方法	補正值(%)	金銭的保証	○	役務的保証						
保証の方法	補正值(%)													
金銭的保証	○													
役務的保証														

(260000-0)

直接工事費内訳書

工種：開削工事及び小口径推進工事等

費 目	工 種	種 別	細 別 / 規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
減圧弁配管管工事								Y11001//1
	材料費		減圧弁配管管工事	式	1			第1号明細表, AZ1002//1
	布設費		減圧弁配管管工事	式	1			第2号明細表, AZ1004//1
	土木費		減圧弁配管管工事	式	1			第3号明細表, AZ1003//1
減圧弁室築造工事								Y11001//3
	資材費		減圧弁室築造工事	式	1			第4号明細表, AZ1002//3
	設置・土木費		減圧弁室築造工事	式	1			第5号明細表, AZ1003//3
直接工事費計								

(260000-0)

第1号明細表の1 AZ1002-0000-01							種別： 減圧弁配管工事 形状： 備考：
材料費 1式当り明細表							
名 称	規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	
緩み止めB.N付 SUS芯金入りパッキン10K	100mm	個	4			DFM9100 見積	
緩み止めB.N付 SUS芯金入りパッキン10K	150mm	個	2			DFM9150 見積	
GFガスケット1号	150mm	枚	4			DFB0150 見積	
フランジ用ボルトナット:水協型 ステンレス製	150A 7.5K	組	4			DFG0150 見積	
ストラップカップリング：水道用グリップタイプ	100A	個	1			G3D1100 見積	
ステンレス鋼鋼管:SUS304 S20	100A	m.	1.5			G410100 刊行物	
ステンレス鋼鋼管:SUS304 S20	150A	m.	4.1			G410150 刊行物	
ステンレス溶接ジョイントS20(同心):1段落 SUS304	150A*100A	個	2			G4B0151 刊行物	
ステンレス溶接ロングエルボ:90° SUS304 S20	150A	個	4			G4E0150 刊行物	
ステンレス溶接差込フランジ:10K SUS304	100mm	枚	4			G4L5100 見積	
ステンレス溶接差込フランジ:10K SUS304	150mm	枚	4			G4L5150 見積	
ステンレス溶接差込フランジ:上水規格 SUS304	150A	枚	2			G4L0150 見積	

(260000-0)

第1号明細表の2 AZ1002-0000-01							種別： 減圧弁配管管工事 形状： 備考：
材料費 1式当り明細表							
名 称	規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	
配水用ポリエチレン管	φ 150×5000	m.	0.6			L410150 刊行物	
EF受口付フランジ（ルーズフランジ SUS）	φ 150 7.5K	個	4			L4B4150 見積	
ステンレス鋼鋼管	SUS304 S20 10A	m.	0.2			F1000//1 見積	
ステンレスPTソケット	SUS304 10A	個	2			F1010//1 見積	
ゲージハルブ	10A ネジ 水抜き穴付き	個	2			F1020//1 見積	
圧力ゲージ	10A ネジ 0～1MPa ±1.6% 75mm	個	2			F1030//1 見積	
熱収縮チューブ 直管	150A	組	14			TZ03021/50 見積	
熱収縮チューブ 曲管 :90°	150A 中-3 袖-2	組	4			TZ03031/50 見積	
合 計		式	1				
単 位 当 り			1				

(260000-0)

第2号明細表の1
AZ1004-0000-01

布設費 1式当り 明細表

種別： 減圧弁配管工事
形状：
備考：

名 称	規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
フランジ継手工	10K 100mm	口	4			第1号表, SS0140//3 水道事業実務必携
フランジ継手工	10K 150mm	口	2			第2号表, SS0140//4 水道事業実務必携
フランジ継手工	7.5K 150mm	口	4			第3号表, SS0140//2 水道事業実務必携
小口径鋼管据付工	φ 150mm	m	5.9			第4号表, SS0210//1 水道事業実務必携
小口径鋼管据付工	φ 100mm	m	1.5			第5号表, SS0210//2 水道事業実務必携
小口径鋼管据付工	φ 20mm	m	0.2			第6号表, SS0210//3 水道事業実務必携
ステンレス鋼管電気溶接工	φ 150mm (5mm) 直流溶接	箇所	12			第7号表, SS0260//1 水道事業実務必携
ステンレス鋼管電気溶接工	φ 100mm (4mm) 直流溶接	箇所	6			第8号表, SS0260//2 水道事業実務必携
ポリエチレン管据付工	φ 150mm	m	1.5			第9号表, SS0350//1 水道事業実務必携
ポリエチレン管継手工	φ 150mm 融着(EF)継手・片受	口	4			第10号表, SS0360//1 水道事業実務必携
ステンレス鋼管切断工	開先加工 φ 150mm (5mm)	口	4			第11号表, SS0450//3 水道事業実務必携
ステンレス鋼管切断工	切断＋開先加工 φ 150mm (5mm)	口	4			第12号表, SS0450//4 水道事業実務必携

(260000-0)

第2号明細表の2 AZ1004-0000-01							種別： 減圧弁配管管工事 形状： 備考：	
名 称		規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	
ステンレス鋼管切断工		開先加工 φ 100mm (4mm)	口	3			第13号表, SS0450//5 水道事業実務必携	
ステンレス鋼管切断工		切断＋開先加工 φ 100mm (4mm)	口	4			第14号表, SS0450//8 水道事業実務必携	
ホ リエチレン管切断工		φ 150	口	2			第15号表, SS0457//1 水道事業実務必携	
ロケティングワイヤー(ホ リエチレン管)			m	1.5			第16号表, SS1230//1 水道事業実務必携	
埋設表示シート布設 (水道管)		(リサイクル品)	m	1.5			第17号表, SX0619//1 複合代価(水道事業実務必携)	
管明示テープ 工(水道・ホ リエチレン管用)		φ 150×5m 胴巻4箇所 天端明示無し	m	1.5			第18号表, SY1220//1 複合代価(水道事業実務必携)	
機械等据付工		質量:0.063t 割増無し 分類:第2類	式	1			第19号表, SY9600//1 水道事業実務必携	
機械等据付工		質量:0.029t 割増無し 分類:第4類	式	1			第20号表, SY9600//2 水道事業実務必携	
塗覆装工(熱収縮チューブ)		一般部 φ 150mm	箇所	18			第21号表, SX0302//1 独自代価	
合 計			式	1				
単 位 当 り				1				

(260000-0)

第3号明細表
AZ1003-0000-01

土木費 1式当り明細表

種別： 減圧弁配管工事
形状：
備考：

名 称	規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
バックホウ掘削積込	BH クローラ型 山積0.28m3排ガス2次	m3	12			第22号表, SS1000//1 水道事業実務必携
路床工(洗砂)	山積0.28m3 1層max仕上厚20cm	m3	5			第23号表, SX1300//4 複合代価(水道事業実務必携)
路床工(再生クラッシュランRC-40)	山積0.28m3 1層max仕上厚20cm	m3	7			第24号表, SX1300//3 複合代価(水道事業実務必携)
発生土処理	バックホウ 山積0.28m3 4t積 L=10km 自由処分 D I D区域外	m3	12			第25号表, SXG0030//2 複合代価(県積算基準・水道事業実務必携)
合 計		式	1			
単 位 当 り			1			

(260000-0)

第4号明細表
AZ1002-0000-03

資材費 1式当り明細表

種別： 減圧弁室築造工事
形状：
備考：

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
排気用ベント	ステンレスφ100 防虫網付	個	1			F2000//1 見積
硬質塩化ビニル管（薄肉管）	VU-100	m	0.12			F2010//1 県単価(TZJ5002016)
雪囲い金物	十手型 SUS 6尺10段	本	2			F2020//1 見積
雪止め板	杉板10枚 24×150×2750	組	1			F2030//1 見積
引違アルミドア	腰ハネアルミドア W1600×H1800 両開き	組	1			F2040//1 刊行物
合 計		式	1			
単 位 当 り			1			

(260000-0)

第5号明細表の1 AZ1003-0000-03		設置・土木費 1式当り明細表					種別： 減圧弁室築造工事 形状： 備考：					
名	称	規	格	単位	数	量	単	価	金	額	摘	要
ボックスカルバート	据付	2.0m/個	1.25m<B≤2.5m 1.25m<H≤2.5m	m	2						第26号表, SP13920//1	県積算基準
舗装版切断	アスファルト舗装版	舗装厚:15cm以下		m	15						第27号表, SP1D210//1	県積算基準
舗装版取り壊し	積込工	0cm超え10cm以下	BH クローラ山積0.28m3排ガス2次	m2	13						第28号表, SS1040//1	水道事業実務必携
バックホウ掘削	積込	BH クローラ型	山積0.28m3排ガス2次	m3	6						第22号表, SS1000//1	水道事業実務必携
産廃運搬処理	アスファルト殻運搬工	バックホウ	山積0.28m3 4t積 L=19km D I D区域外 廃材プラント (R)	m3	0.6						第29号表, SXG0020//1	複合代価(県積算基準・水道事業実務必携)
発生土処理		バックホウ	山積0.28m3 4t積 L=10km 自由処分 D I D区域外	m3	6						第25号表, SXG0030//2	複合代価(県積算基準・水道事業実務必携)
基礎碎石		17.5cmを超え20.0cm以下	再生クラッシュラン 40～0	m2	9						第30号表, SPZ3410//1	県積算基準
コンクリート	無筋・鉄筋構造物	人力打設24-8-25(20)	W/C≤55% (高炉) 一般養生 小運搬無	m3	5						第31号表, SPZ5010//1	県積算基準
型枠		一般型枠	鉄筋・無筋構造物	m2	21						第32号表, SP15110//1	県積算基準
鉄筋加工組立	一般構造物(市場単価方式)	補正なし	異形棒鋼10t未満4週8休 SD345 径13mm以下 制約無 夜間無	t	0.07						第33号表, SH1000//1	県積算基準
鉄筋加工組立	一般構造物(市場単価方式)	補正なし	異形棒鋼10t未満4週8休 SD345 径25mm以下 制約無 夜間無	t	0.15						第34号表, SH1100//1	県積算基準
基礎碎石		7.5cmを超え12.5cm以下	再生クラッシュラン 40～0	m2	4						第35号表, SPZ3410//2	県積算基準

(260000-0)

第5号明細表の2
AZ1003-0000-03

設置・土木費 1式当り明細表

種別： 減圧弁室築造工事

形状：

備考：

名 称	規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
コンクリート 小型構造物	人力打設24-8-25(20) W/C≦55% (高炉) 一般養生 小運搬無	m3	2			第36号表, SPZ5010//2 県積算基準
型枠	一般型枠 小型構造物	m2	2			第37号表, SP15110//2 県積算基準
モルタル練	高炉 混合比1:3	m3	0.1			第38号表, SP15020//1 県積算基準
コア抜き	φ 254以下 L150以下	箇所	2			TZ1946 見積
あと施工アンカー	差筋アンカー D10 横向き打ち (材工共)	本	22			F3010//1 見積
あと施工アンカー	差筋アンカー D10 上向き打ち (材工共)	本	4			F3020//1 見積
あと施工アンカー	差筋アンカー D13 横向き打ち (材工共)	本	13			F3030//1 見積
あと施工アンカー	差筋アンカー D13 上向き打ち (材工共)	本	3			F3040//1 見積
合 計		式	1			
単 位 当 り			1			